

新津久見高校の生徒が揃いました

3月3日(月)、市民に愛され続けてきた津久見高校が、75年の栄光の歴史に幕をおろしました。今年度、新津久見高校が開校して3年目となり、全学年が新設高校の生徒となりました。そこで今月は、新津久見高校について改めてご紹介します。

【校名】「大分県立津久見高等学校」 1,077通の全国公募により決定

【校章】  希望や感動に満ちた学校生活で、旺盛な好奇心と行動力によって、
学究を深め情熱を高め、進取の精神に富むたくましい人間に育って
ほしいという願いが込められています。

【校歌】 作詞：行武雅之 作曲：中山悌一 監修：東洋二
◆閉校した津久見高校の校歌のメロディーと歌詞の一部を継承
◆臼杵商業高校の精神(「自彊」(じきょう))を1番で継承
◆海洋科学高校のイメージを2番に反映

一、彦岳に 朝の陽映えて
雲白く 湧きたつところ
誇りある 自彊を胸に
たゆみなく 勤しむわれら
友愛の 絆もかたく
ああ感動あり 津久見高校

二、海原に 波濤も白く
風受けて はためくのぼり
新時代 崇きをめざし
たくましく 漕ぎ出すわれら
進取の 誓もあつく
ああ希望あり 津久見高校

こんにちは
津久見高校です

このイラストは、会計システム科
3年 安藤詩織さんの作品です。



津高生 One By One

福田悠樹：生産機械科3年(城南中出身)
森崎智弘：生産機械科3年(東雲中出身)

今月は、生産機械科3年生の福田悠樹・森崎智弘くんの登場です。2人は高い志を持って津久見高校に入学し、専門科目や実習などに懸命に取り組んでいます。現在、「ものづくりコンテスト」に向けて、集中してレベルアップを図っている2人にインタビューしました。(F:福田くん、M:森崎くん、I:インタビュアー)

I：津久見高校で学ぼうと思った理由は？

F：僕は、機械技術に興味があったからです。

M：僕は、幼い頃からいろいろな機械に興味があり、将来は機械関係の仕事に就きたいと思ったからです。

I：今、頑張っていることは？

M：6月に開催される『ものづくりコンテスト』に向けて、2月はじめから毎日腕を磨いています。昨年は勝てなかったのが、最後の出場となる今年はぜひ優勝を目指します。

I：どんな練習をしていますか？

F：旋盤と呼ばれる工作機械を使って、テーパ切削やねじ切りの練習をしています。精度を100分の1ミリ単位で高めていかなければ勝てないので、毎日が真剣勝負です。

I：将来の夢は？

F：大阪の大手機械製作会社に就職し、工作機械などの設計をしたいと思っています。みんなに役立つものをつくり、人から喜んでもらえたらいいなと考えています。

M：僕の夢は、『技能オリンピック』の『旋盤』部門に出場し、金メダルを取ることです。

I：2人とも、すごく大きな夢を持っていますね。夢を実現するために資格もたくさん取っているのですか？

F：『機械検査2級』をはじめ、10個の資格を取得しました。

M：僕は、2年間で6つの資格を取得しています。

I：インタビューした私もなんだか勇気づけられました。2人ともコンテスト頑張ってください。



津高のイメージキャラクター(ゆるキャラ)が決定しました。詳しくは、5月号にてお知らせします。